

特定看護師(仮称)養成 調査試行事業最終報告書
指導者評価

参考資料3-2

大分県立看護科学大学大学院
看護学研究科(老年)

医 行 為 番 号	医行為名(注1) (注1) 医行為番号、医行為名は、「看護師が行う医行為の範囲に関する研究(平成22年度厚生労働科学特別研究事業主任研究者前原正明防衛医科大学校教授)」における医療処置項目を記入し、医行為名がない場合は、医行為名を追記した。	到達度別の人数(人)				人数(人)
		1: 自律して 実施できる	2: 少しの指 導で実施で きる	3: かなりの 指導で実施 できる	4: 指導者 の実施を見 学	
1) 演習で実施した医行為と到達度						
4	トリアージのための検体検査の実施の決定	3	1	0	0	4 / 4
5	トリアージのための検体検査結果の評価	2	1	1	0	4 / 4
6	治療効果判定のための検体検査の実施の決定	3	0	1	0	4 / 4
7	治療効果判定のための検体検査結果の評価	2	1	1	0	4 / 4
9	単純X線撮影の実施の決定	3	1	0	0	4 / 4
10	単純X線撮影の画像評価	0	1	2	1	4 / 4
11	CT、MRI検査の実施の決定	3	0	1	0	4 / 4
12	CT、MRI検査の画像評価	0	1	2	1	4 / 4
17	腹部超音波検査の実施の決定	3	0	1	0	4 / 4
18	腹部超音波検査の実施	0	3	1	0	4 / 4
19	腹部超音波検査の結果の評価	0	1	2	1	4 / 4
20	心臓超音波検査の実施の決定	3	1	0	0	4 / 4
27	12誘導心電図検査の実施の決定	2	1	0	0	3 / 4
52	眼底検査の実施の決定	3	1	0	0	4 / 4
53	眼底検査の実施	0	1	3	0	4 / 4
54	眼底検査の結果の評価	0	0	3	1	4 / 4
55	ACT(活性化凝固時間)の測定実施の決定	3	0	1	0	4 / 4
69	褥瘡の壊死組織のデブリードマン	0	3	1	0	4 / 4
70	電気凝固メスによる止血(褥瘡部)	0	3	1	0	4 / 4
73	皮下膿瘍の切開・排膿: 皮下組織まで	0	3	0	1	4 / 4
75	表創(非感染創)の縫合: 皮下組織まで(手術室外で)	0	3	1	0	4 / 4
78	体表面創の抜糸・抜鉤	3	0	1	0	4 / 4
110	胃ろう、腸ろうのチューブ抜去	0	0	4	0	4 / 4
112	胃ろうチューブ・ボタンの交換	0	0	4	0	4 / 4
156	下剤(坐薬も含む)	0	3	1	0	4 / 4
157	胃薬: 制酸剤	0	3	1	0	4 / 4
158	胃薬: 胃粘膜保護剤	0	3	1	0	4 / 4
159	整腸剤	0	4	0	0	4 / 4
160	制吐剤	0	4	0	0	4 / 4
161	止痢剤	0	3	1	0	4 / 4
162	鎮痛剤	0	3	1	0	4 / 4
163	解熱剤	0	3	1	0	4 / 4
166	インフルエンザ薬	0	3	1	0	4 / 4
167	外用薬	0	4	0	0	4 / 4

医 行 為 番 号	医行為名(注1) (注1) 医行為番号、医行為名は、「看護師が行う医行為の範囲に関する研究(平成22年度厚生労働科学特別研究事業主任研究者前原正明防衛医科大学校教授)」における医療処置項目を記入し、医行為名がない場合は、医行為名を追記した。	到達度別の人数(人)				人数(人)
		1: 自律して実施できる	2: 少しの指導で実施できる	3: かなりの指導で実施できる	4: 指導者の実施を見学	
168	創傷被覆材(ドレッシング材)	0	3	1	0	4 / 4
169	睡眠剤	0	2	1	1	4 / 4
171	抗不安薬	0	2	1	1	4 / 4
173	感染徴候時の薬物(抗生剤等)の選択(全身投与、局所投与等)	0	3	1	0	4 / 4
185	痛みの強さや副作用症状に応じた非オピオイド・鎮痛補助薬の選択と投与量・用法調整:WHO方式がん疼痛治療法等	0	2	1	1	4 / 4
196	患者・家族・医療従事者教育	2	1	0	1	4 / 4
203	患者の入院と退院の判断	0	3	0	1	4 / 4
2) 臨地実習で実施した医行為と到達度						
2	直接動脈穿刺による採血	0	2	0	0	2 / 4
3	動脈ラインの抜去・圧迫止血	0	1	0	0	1 / 4
4	トリアージのための検体検査の実施の決定	1	3	0	0	4 / 4
5	トリアージのための検体検査結果の評価	0	4	0	0	4 / 4
6	治療効果判定のための検体検査の実施の決定	2	0	0	0	2 / 4
7	治療効果判定のための検体検査結果の評価	1	1	0	0	2 / 4
8	手術前検査の実施の決定	0	0	0	1	1 / 4
9	単純X線撮影の実施の決定	1	3	0	0	4 / 4
10	単純X線撮影の画像評価	0	2	2	0	4 / 4
11	CT、MRI検査の実施の決定	1	3	0	0	4 / 4
12	CT、MRI検査の画像評価	0	1	2	1	4 / 4
13	造影剤使用検査時の造影剤の投与	0	0	0	1	1 / 4
14	IVR時の動脈穿刺、カテーテル挿入・抜去の一部実施	0	0	0	2	2 / 4
15	経腹部的膀胱超音波検査(残尿測定目的)の実施の決定	1	0	0	0	1 / 4
16	経腹部的膀胱超音波検査(残尿測定目的)の実施	1	0	0	0	1 / 4
17	腹部超音波検査の実施の決定	1	3	0	0	4 / 4
18	腹部超音波検査の実施	0	1	2	1	4 / 4
19	腹部超音波検査の結果の評価	0	2	2	0	4 / 4
20	心臓超音波検査の実施の決定	1	1	0	1	3 / 4
21	心臓超音波検査の実施	0	1	0	2	3 / 4
22	心臓超音波検査の結果の評価	0	1	1	1	3 / 4
23	頸動脈超音波検査の実施の決定	0	1	2	0	3 / 4
24	表在超音波検査の実施の決定	1	0	0	0	1 / 4
25	下肢血管超音波検査の実施の決定	1	0	0	0	1 / 4
27	12誘導心電図検査の実施の決定	2	2	0	0	4 / 4
28	12誘導心電図検査の実施	1	3	0	0	4 / 4
29	12誘導心電図検査の結果の評価	0	3	1	0	4 / 4
30	感染症検査(インフルエンザ・ノロウイルス等)の実施の決定	1	3	0	0	4 / 4
31	感染症検査(インフルエンザ・ノロウイルス等)の実施	1	3	0	0	4 / 4

医 行 為 番 号	医行為名(注1) (注1) 医行為番号、医行為名は、「看護師が行う医行為の範囲に関する研究(平成22年度厚生労働科学特別研究事業主任研究者前原正明防衛医科大学校教授)」における医療処置項目を記入し、医行為名がない場合は、医行為名を追記した。	到達度別の人数(人)				人数(人)
		1: 自律して 実施できる	2: 少しの指 導で実施で きる	3: かなりの 指導で実施 できる	4: 指導者 の実施を見 学	
32	感染症検査(インフルエンザ・ノロウィルス等)の結果の評価	3	1	0	0	4 / 4
33	薬剤感受性検査実施の決定	0	2	0	0	2 / 4
34	真菌検査の実施の決定	0	3	0	0	3 / 4
35	真菌検査の結果の評価	0	3	0	0	3 / 4
36	微生物学検査実施の決定	0	3	0	0	3 / 4
39	スパイロメトリーの実施の決定	1	3	0	0	4 / 4
44	血流評価検査(ABI/PWV/SPP)検査の実施の決定	2	2	0	0	4 / 4
45	血流評価検査(ABI/PWV/SPP)検査の実施	1	1	0	0	2 / 4
46	血流評価検査(ABI/PWV/SPP)検査の結果の評価	1	3	0	0	4 / 4
47	骨密度検査の実施の決定	0	2	0	1	3 / 4
48	骨密度検査の結果の評価	0	2	0	1	3 / 4
49	嚥下造影の実施の決定	0	0	0	1	1 / 4
52	眼底検査の実施の決定	1	3	0	0	4 / 4
53	眼底検査の実施	0	1	0	1	2 / 4
54	眼底検査の結果の評価	0	2	0	0	2 / 4
56	酸素投与の開始、中止、投与量の調整の判断	1	0	1	0	2 / 4
57	気管カニューレの選択・交換	0	1	0	0	1 / 4
59	挿管チューブの位置調節(深さの調整)	0	0	0	1	1 / 4
60	経口・経鼻挿管の実施	0	0	0	1	1 / 4
62	人工呼吸器モードの設定・変更の判断・実施	0	0	2	1	3 / 4
66	NPPV開始、中止、モード設定	0	1	0	0	1 / 4
68	創部洗浄・消毒	1	0	1	0	2 / 4
69	褥瘡の壊死組織のデブリードマン	0	4	0	0	4 / 4
70	電気凝固メスによる止血(褥瘡部)	0	0	0	1	1 / 4
71	巻爪処置(ニッパー、ワイヤーを用いた処置)	0	0	1	1	2 / 4
72	胼胝・鶏眼処置(コーンカッター等用いた処置)	0	0	0	1	1 / 4
73	皮下膿瘍の切開・排膿:皮下組織まで	0	0	0	1	1 / 4
75	表創(非感染創)の縫合:皮下組織まで(手術室外で)	0	0	2	1	3 / 4
76	非感染創の縫合:皮下組織から筋層まで(手術室外で)	0	0	0	1	1 / 4
78	体表面創の抜糸・抜鉤	1	0	1	0	2 / 4
81	中心静脈カテーテル挿入	0	0	0	1	1 / 4
85	腹腔穿刺(一時的なカテーテル留置を含む)	0	0	1	1	2 / 4
86	腹腔ドレーン抜去(腹腔穿刺後の抜針含む)	0	0	1	1	2 / 4
91	創部ドレーン抜去	0	1	0	0	1 / 4
93	「一時的ペースメーカー」の操作・管理	0	0	0	1	1 / 4
94	「一時的ペースメーカー」の抜去	0	0	0	1	1 / 4
102	導尿・留置カテーテルの挿入及び抜去の決定	0	1	0	0	1 / 4
105	食事の開始・中止の決定	0	0	0	1	1 / 4
111	経管栄養用の胃管の挿入、入れ替え	0	0	1	0	1 / 4

医 行 為 番 号	医行為名(注1) (注1) 医行為番号、医行為名は、「看護師が行う医行為の範囲に関する研究(平成22年度厚生労働科学特別研究事業主任研究者前原正明防衛医科大学校教授)」における医療処置項目を記入し、医行為名がない場合は、医行為名を追記した。	到達度別の人数(人)				人数(人)
		1: 自律して 実施できる	2: 少しの指 導で実施で きる	3: かなりの 指導で実施 できる	4: 指導者 の実施を見 学	
112	胃ろうチューブ・ボタンの交換	0	2	0	1	3 / 4
113	膀胱ろうカテーテルの交換	0	0	0	1	1 / 4
114	安静度・活動や清潔の範囲の決定	0	1	0	0	1 / 4
115	隔離の開始と解除の判断	0	0	0	1	1 / 4
117	全身麻酔の導入	0	0	1	0	1 / 4
118	術中の麻酔・呼吸・循環管理(麻酔深度の調節、薬剤・酸素投与濃度、輸液量等の調整)	0	0	1	0	1 / 4
119	麻酔の覚醒	0	0	1	0	1 / 4
120	局所麻酔(硬膜外・腰椎)	0	0	1	0	1 / 4
122	神経ブロック	0	0	0	1	1 / 4
124	皮膚表面の麻酔(注射)	0	1	1	1	3 / 4
125	手術執刀までの準備(体位、消毒)	0	0	0	2	2 / 4
131	血糖値に応じたインスリン投与量の判断	0	2	0	0	2 / 4
133	脱水の判断と補正(点滴)	0	1	1	0	2 / 4
134	末梢血管静脈ルートの確保と輸液剤の投与	0	1	0	0	1 / 4
143	前立腺がん検診: 触診・PSAオーダ(一次スクリーニング)	1	0	0	0	1 / 4
144	大腸がん検診: 便潜血オーダ(一次スクリーニング)	1	0	0	0	1 / 4
146	高脂血症用剤	2	2	0	0	4 / 4
147	降圧剤	1	3	0	0	4 / 4
148	糖尿病治療薬	2	1	1	0	4 / 4
149	排尿障害治療薬	0	0	1	0	1 / 4
153	利尿剤	0	1	1	0	2 / 4
154	基本的な輸液: 高カロリー輸液	1	3	0	0	4 / 4
155	指示された期間内に薬がなくなった場合の継続薬剤(全般)の継続使用	1	0	0	0	1 / 4
156	下剤(坐薬も含む)	1	1	0	0	2 / 4
157	胃薬: 制酸剤	1	3	0	0	4 / 4
158	胃薬: 胃粘膜保護剤	1	3	0	0	4 / 4
159	整腸剤	1	3	0	0	4 / 4
160	制吐剤	1	2	0	0	3 / 4
161	止痢剤	0	3	0	0	3 / 4
162	鎮痛剤	0	4	0	0	4 / 4
166	インフルエンザ薬	0	2	0	0	2 / 4
167	外用薬	1	1	0	0	2 / 4
168	創傷被覆材(ドレッシング材)	1	1	0	0	2 / 4
169	睡眠剤	0	1	0	0	1 / 4
170	抗精神病薬	0	1	0	0	1 / 4
171	抗不安薬	0	1	0	0	1 / 4
172	ネブライザーの開始、使用薬液の選択	1	0	0	0	1 / 4
173	感染徴候時の薬物(抗生剤等)の選択(全身投与、局所投与等)	0	3	1	0	4 / 4

医 行 為 番 号	医行為名(注1) (注1) 医行為番号、医行為名は、「看護師が行う医行為の範囲に関する研究(平成22年度厚生労働科学特別研究事業主任研究者前原正明防衛医科大学校教授)」における医療処置項目を記入し、医行為名がない場合は、医行為名を追記した。	到達度別の人数(人)				人数(人)
		1:自律して 実施できる	2:少しの指 導で実施で きる	3:かなりの 指導で実施 できる	4:指導者 の実施を見 学	
174	抗菌剤開始時期の決定、変更時期の決定	0	2	2	0	4 / 4
175	基本的な輸液:糖質輸液、電解質輸液	1	1	0	0	2 / 4
183	自己血糖測定開始の決定	1	1	0	0	2 / 4
185	痛みの強さや副作用症状に応じた非オピオイド・鎮痛補助薬の選択と投与量・用法調整:WHO方式がん疼痛治療法等	0	0	1	0	1 / 4
188	日々の病状、経過の補足説明(時間をかけた説明)	0	4	0	0	4 / 4
189	リハビリテーション(嚥下、呼吸、運動機能アップ等)の必要性の判断、依頼	1	2	1	0	4 / 4
190	整形外科領域の補助具の決定、注文	0	1	0	0	1 / 4
191	理学療法士・健康運動指導士への運動指導依頼	1	0	0	0	1 / 4
192	他科への診療依頼	1	1	0	0	2 / 4
193	他科・他院への診療情報提供書作成(紹介および返信)	0	1	1	0	2 / 4
196	患者・家族・医療従事者教育	0	1	0	0	1 / 4
197	栄養士への食事指導依頼(既存の指示内容で)	1	0	0	0	1 / 4
198	他の介護サービスの実施可・不可の判断(リハビリ、血圧・体温など)	1	0	0	0	1 / 4
203	患者の入院と退院の判断	1	1	0	0	2 / 4
	終末期患者の死亡確認	0	0	1	0	1 / 4

特定看護師(仮称)養成 調査試行事業最終報告書
指導者評価

岡山大学大学院
保健学研究科(がん)

医 行 為 番 号	医行為名(注1) (注1) 医行為番号、医行為名は、「看護師が行う医行為の範囲に関する研究(平成22年度厚生労働科学特別研究事業主任研究者前原正明防衛医科大学校教授)」における医療処置項目を記入し、医行為名がない場合は、医行為名を追記した。	到達度別の人数(人)				人数(人)
		1: 自律して 実施できる	2: 少しの指 導で実施で きる	3: かなりの 指導で実施 できる	4: 指導者 の実施を見 学	
1) 演習で実施した医行為と到達度						
177	化学療法副作用出現時の症状緩和の薬剤選択、処置	0	0	0	1	1
180	副作用症状の確認による薬剤の中止、減量、変更の決定	0	0	0	1	1
2) 臨地実習で実施した医行為と到達度						
	なし					

特定看護師(仮称)養成 調査試行事業最終報告書
指導者評価

高知女子大学大学院
看護学研究科(がん)

医 行 為 番 号	医行為名(注1) (注1) 医行為番号、医行為名は、「看護師が行う医行為の範囲に関する研究(平成22年度厚生労働科学特別研究事業主任研究者前原正明防衛医科大学校教授)」における医療処置項目を記入し、医行為名がない場合は、医行為名を追記した。	到達度別の人数(人)				人数(人)
		1: 自律して 実施できる	2: 少しの指 導で実施で きる	3: かなりの 指導で実施 できる	4: 指導者 の実施を見 学	
1) 演習で実施した医行為と到達度						
	な し					
2) 臨地実習で実施した医行為と到達度						
6	治療効果判定のための検体検査の実施の評価	0	2	0	0	2 / 4
7	治療効果判定のための検体検査の結果の評価	0	1	0	0	1 / 4
11	CT・MRI検査の実施の決定	0	1	1	0	2 / 4
12	CT・MRI検査のの画像評価	0	1	1	0	2 / 4
85	腹腔穿刺(一時的なカテーテル留置を含む)	0	2	0	0	2 / 4
86	腹胸腔ドレーン抜去(腹腔穿刺後の抜針含む)	1	1	0	0	2 / 4
156	下剤(坐薬も含む)	2	0	0	0	2 / 4
157	胃薬: 胃粘膜保護剤	0	1	0	0	1 / 4
160	制吐剤	0	2	0	0	2 / 4
162	鎮痛剤	0	1	0	0	1 / 4
177	化学療法副作用出現時の症状緩和の薬剤選択、処置	0	1	0	0	1 / 4
180	副作用症状の確認による薬剤の中止、減量、変更の決定	0	1	0	0	1 / 4
184	痛みの強さや副作用症状に応じたオピオイドローテーション	0	2	0	0	2 / 4
185	痛みの強さや副作用症状に応じた非オピオイドの選択	0	2	0	0	2 / 4
186	がんの転移、浸潤に伴う苦痛症状緩和のための薬剤選択	0	2	0	0	2 / 4
188	日々の病状、「経過の補足説明	0	1	0	0	1 / 4
192	他科への診察依頼	0	1	0	0	1 / 4
193	他科、多施設への診療情報提供書の作成	0	1	1	0	2 / 4
203	患者の入院と退院の判断	0	0	1	0	1 / 4

特定看護師(仮称)養成 調査試行事業最終報告書
指導者評価

高知女子大学大学院
看護学研究科(老人)

医 行 為 番 号	医行為名(注1) (注1) 医行為番号、医行為名は、「看護師が行う医行為の範囲に関する研究(平成22年度厚生労働科学特別研究事業主任研究者前原正明防衛医科大学校教授)」における医療処置項目を記入し、医行為名がない場合は、医行為名を追記した。	到達度別の人数(人)				人数(人)
		1: 自律して 実施できる	2: 少しの指 導で実施で きる	3: かなりの 指導で実施 できる	4: 指導者 の実施を見 学	
1) 演習で実施した医行為と到達度						
	なし					
2) 臨地実習で実施した医行為と到達度						
104	飲水の開始・中止の決定	0	0	0	1	1 / 1
105	食事の開始・中止の決定	0	0	0	1	1 / 1
111	経管栄養用の胃管の挿入、入れ替え	0	1	0	0	1 / 1
133	脱水の判断と補正(点滴)	0	0	0	1	1 / 1
193	他科・他院への診療情報提供書作成(紹介および返信)	0	0	1	0	1 / 1
203	患者の入院と退院の判断	0	0	1	0	1 / 1

特定看護師(仮称)養成 調査試行事業最終報告書
指導者評価

高知女子大学大学院
看護学研究科(小児)

医 行 為 番 号	医行為名(注1) (注1) 医行為番号、医行為名は、「看護師が行う医行為の範囲に関する研究(平成22年度厚生労働科学特別研究事業主任研究者前原正明防衛医科大学校教授)」における医療処置項目を記入し、医行為名がない場合は、医行為名を追記した。	到達度別の人数(人)				人数(人)
		1: 自律して 実施できる	2: 少しの指 導で実施で きる	3: かなりの 指導で実施 できる	4: 指導者 の実施を見 学	
1) 演習で実施した医行為と到達度						
10	単純X線撮影の画像評価	0	0	0	1	1 / 2
56	酸素投与の開始・中止投与量の・調整の判断	0	0	0	2	2 / 2
133	脱水の判断と補正(点滴)	0	0	0	1	1 / 2
172	ネブライザーの開始、使用薬剤の選択	0	1	0	1	2 / 2
174	抗菌剤開始時期の決定、変更時期の決定	0	0	1	0	1 / 2
175	基本的な輸液、糖質輸液、電解質輸液	0	0	0	1	1 / 2
196	患者・家族・医療者教育	1	1	0	0	2 / 2
2) 臨地実習で実施した医行為と到達度						
10	単純X線撮影の画像評価	0	0	0	1	1 / 2
56	酸素投与の開始・中止投与量の・調整の判断	0	1	0	0	1 / 2
107	小児のミルクの種類・量・濃度の決定	0	1	0	0	1 / 2
172	ネブライザーの開始、使用薬剤の選択	0	1	0	0	1 / 2
188	日々の病状、経過の補足説明	1	0	0	0	1 / 2
196	患者・家族・医療者教育	2	0	0	0	2 / 2
	内服方法の選択と実施	1	0	0	0	1 / 2
	保健師への連絡票の作成訪問の必要性の判断、依頼	1	0	0	0	1 / 2
	喘息の子どもの症状コントロールに向けた生活指導と子ども・家族のアドヒアランスの強化	0	1	0	0	1 / 2
	喘息の重症度の判断	0	1	0	0	1 / 2
	喘息発作の重症度の判断	0	1	0	0	1 / 2
	喘息の薬剤の種類・量の選択	0	1	0	0	1 / 2

特定看護師(仮称)養成 調査試行事業最終報告書
指導者評価

高知女子大学大学院
看護学研究科(精神)

医 行 為 番 号	医行為名(注1) (注1) 医行為番号、医行為名は、「看護師が行う医行為の範囲に関する研究(平成22年度厚生労働科学特別研究事業主任研究者前原正明防衛医科大学校教授)」における医療処置項目を記入し、医行為名がない場合は、医行為名を追記した。	到達度別の人数(人)				人数(人)
		1: 自律して 実施できる	2: 少しの指 導で実施で きる	3: かなりの 指導で実施 できる	4: 指導者 の実施を見 学	
1) 演習で実施した医行為と到達度						
187	訪問看護の必要性の判断、依頼	0	0	0	3	3 / 3
201	認知・行動療法の実施・評価	3	0	0	0	3 / 3
2) 臨地実習で実施した医行為と到達度						
156	薬剤の選択・使用 下剤	3	0	0	0	3 / 3
180	薬剤の選択・使用 副作用症状の確認による薬剤の中止、減量、変更の決定	0	0	3	0	3 / 3
187	その他 訪問看護の必要性の判断、依頼	3	0	0	0	3 / 3
201	認知行動療法の実施・評価	3	0	0	0	3 / 3
202	支持的精神療法の実施の決定	3	0	0	0	3 / 3

特定看護師(仮称)養成 調査試行事業最終報告書
指導者評価

高知女子大学大学院
看護学研究科(在宅)

医 行 為 番 号	医行為名(注1) (注1) 医行為番号、医行為名は、「看護師が行う医行為の範囲に関する研究(平成22年度厚生労働科学特別研究事業主任研究者前原正明防衛医科大学校教授)」における医療処置項目を記入し、医行為名がない場合は、医行為名を追記した。	到達度別の人数(人)				人数(人)
		1: 自律して 実施できる	2: 少しの指 導で実施で きる	3: かなりの 指導で実施 できる	4: 指導者 の実施を見 学	
1) 演習で実施した医行為と到達度						
114	安静度・活動や清潔の範囲の決定	0	1	0	0	1 / 1
156	下剤(坐薬も含む)	0	1	0	0	1 / 1
159	整腸剤	0	1	0	0	1 / 1
160	制吐剤	0	1	0	0	1 / 1
161	止痢剤	0	1	0	0	1 / 1
168	創傷被覆材(ドレッシング材)	0	0	1	0	1 / 1
187	訪問看護の必要性の判断、依頼	1	0	0	0	1 / 1
188	日々の病状、経過の補足説明(時間をかけた説明)	1	0	0	0	1 / 1
2) 臨地実習で実施した医行為と到達度						
114	安静度・活動や清潔の範囲の決定	1	0	0	0	1 / 1
168	創傷被覆材(ドレッシング材)	0	1	0	0	1 / 1
188	日々の病状、経過の補足説明(時間をかけた説明)	1	0	0	0	1 / 1

特定看護師(仮称)養成 調査試行事業最終報告書
指導者評価

国際医療福祉大学大学院
医療福祉学研究科(慢性期)

医 行 為 番 号	医行為名(注1) (注1) 医行為番号、医行為名は、「看護師が行う医行為の範囲に関する研究(平成22年度厚生労働科学特別研究事業主任研究者前原正明防衛医科大学校教授)」における医療処置項目を記入し、医行為名がない場合は、医行為名を追記した。	到達度別の人数(人)				人数(人)
		1: 自律して 実施できる	2: 少しの指 導で実施で きる	3: かなりの 指導で実施 できる	4: 指導者 の実施を見 学	
1) 演習で実施した医行為と到達度						
4	トリアージのための検体検査の実施の決定	0	5	1	0	6 / 6
5	トリアージのための検体検査結果の評価	0	4	2	0	6 / 6
6	治療効果判定のための検体検査の実施の決定	0	6	0	0	6 / 6
7	治療効果判定のための検体検査結果の評価	0	4	2	0	6 / 6
9	単純X線撮影の実施の決定	1	5	0	0	6 / 6
10	単純X線撮影の画像評価	0	3	3	0	6 / 6
11	CT、MRI検査の実施の決定	0	4	2	0	6 / 6
12	CT、MRI検査の画像評価	0	0	6	0	6 / 6
17	腹部超音波検査の実施の決定	0	4	2	0	6 / 6
18	腹部超音波検査の実施	0	0	6	0	6 / 6
19	腹部超音波検査の結果の評価	0	0	6	0	6 / 6
20	心臓超音波検査の実施の決定	1	5	0	0	6 / 6
21	心臓超音波検査の実施	0	0	6	0	6 / 6
22	心臓超音波検査の結果の評価	0	1	5	0	6 / 6
23	頸動脈超音波検査の実施の決定	0	4	2	0	6 / 6
24	表在超音波検査の実施の決定	0	1	5	0	6 / 6
25	下肢血管超音波検査の実施の決定	1	4	1	0	6 / 6
27	12誘導心電図検査の実施の決定	0	6	0	0	6 / 6
29	12誘導心電図検査の結果の評価	1	2	3	0	6 / 6
38	薬物血中濃度検査(TDM)実施の決定	0	5	1	0	6 / 6
46	血流評価検査(ABI/PWV/SPP)検査の結果の評価	0	4	2	0	6 / 6
52	眼底検査の実施の決定	0	2	4	0	6 / 6
53	眼底検査の実施	0	0	6	0	6 / 6
54	眼底検査の結果の評価	0	2	4	0	6 / 6
55	ACT(活性化凝固時間)の測定実施の決定	0	3	3	0	6 / 6
114	安静度・活動や清潔の範囲の決定	2	3	1	0	6 / 6
131	血糖値に応じたインスリン投与量の判断	1	2	3	0	6 / 6
132	低血糖時のブドウ糖投与	1	4	1	0	6 / 6
133	脱水の判断と補正(点滴)	0	4	2	0	6 / 6
146	高脂血症用剤	0	0	6	0	6 / 6
147	降圧剤	0	1	5	0	6 / 6
148	糖尿病治療薬	0	1	5	0	6 / 6
151	K、Cl、Na	0	0	6	0	6 / 6
153	利尿剤	0	1	5	0	6 / 6

医 行 為 番 号	医行為名(注1) (注1) 医行為番号、医行為名は、「看護師が行う医行為の範囲に関する研究(平成22年度厚生労働科学特別研究事業主任研究者前原正明防衛医科大学校教授)」における医療処置項目を記入し、医行為名がない場合は、医行為名を追記した。	到達度別の人数(人)				人数(人)
		1: 自律して実施できる	2: 少しの指導で実施できる	3: かなりの指導で実施できる	4: 指導者の実施を見学	
156	下剤(坐薬も含む)	0	2	4	0	6 / 6
157	胃薬: 制酸剤	0	1	5	0	6 / 6
158	胃薬: 胃粘膜保護剤	0	5	1	0	6 / 6
175	基本的な輸液: 糖質輸液、電解質輸液	0	4	2	0	6 / 6
180	副作用症状の確認による薬剤の中止、減量、変更の決定	0	2	4	0	6 / 6
183	自己血糖測定開始の決定	1	3	2	0	6 / 6
188	日々の病状、経過の補足説明(時間をかけた説明)	1	3	2	0	6 / 6
189	リハビリテーション(嚥下、呼吸、運動機能アップ等)の必要性の判断、依頼	1	1	4	0	6 / 6
192	他科への診療依頼	1	4	1	0	6 / 6
196	患者・家族・医療従事者教育	0	6	0	0	6 / 6
197	栄養士への食事指導依頼(既存の指示内容で)	1	4	1	0	6 / 6
203	患者の入院と退院の判断	0	3	3	0	6 / 6
2) 臨地実習で実施した医行為と到達度						
1	動脈ラインからの採血	1	0	0	1	2 / 6
2	直接動脈穿刺による採血	0	1	1	1	3 / 6
3	動脈ラインの抜去・圧迫止血	1	1	0	0	2 / 6
4	トリアージのための検体検査の実施の決定	2	2	1	0	5 / 6
5	トリアージのための検体検査結果の評価	0	4	1	0	5 / 6
6	治療効果判定のための検体検査の実施の決定	2	4	0	0	6 / 6
7	治療効果判定のための検体検査結果の評価	0	6	0	0	6 / 6
8	手術前検査の実施の決定	0	3	0	0	3 / 6
9	単純X線撮影の実施の決定	5	1	0	0	6 / 6
10	単純X線撮影の画像評価	0	5	1	0	6 / 6
11	CT、MRI検査の実施の決定	2	4	0	0	6 / 6
12	CT、MRI検査の画像評価	0	2	4	0	6 / 6
13	造影剤使用検査時の造影剤の投与	1	1	0	0	2 / 6
15	経腹部的膀胱超音波検査(残尿測定目的)の実施の決定	1	0	0	0	1 / 6
17	腹部超音波検査の実施の決定	2	3	0	0	5 / 6
18	腹部超音波検査の実施	0	0	1	1	2 / 6
19	腹部超音波検査の結果の評価	0	1	3	0	4 / 6
20	心臓超音波検査の実施の決定	4	2	0	0	6 / 6
21	心臓超音波検査の実施	1	0	3	0	4 / 6
22	心臓超音波検査の結果の評価	0	3	3	0	6 / 6
23	頸動脈超音波検査の実施の決定	4	2	0	0	6 / 6
24	表在超音波検査の実施の決定	1	2	0	0	3 / 6
25	下肢血管超音波検査の実施の決定	3	2	0	0	5 / 6
26	術後下肢動脈ドップラー検査の実施の決定	0	2	0	0	2 / 6
27	12誘導心電図検査の実施の決定	5	1	0	0	6 / 6

医 行 為 番 号	医行為名(注1) (注1) 医行為番号、医行為名は、「看護師が行う医行為の範囲に関する研究(平成22年度厚生労働科学特別研究事業主任研究者前原正明防衛医科大学校教授)」における医療処置項目を記入し、医行為名がない場合は、医行為名を追記した。	到達度別の人数(人)				人数(人)
		1: 自律して実施できる	2: 少しの指導で実施できる	3: かなりの指導で実施できる	4: 指導者の実施を見学	
28	12誘導心電図検査の実施	2	2	0	0	4 / 6
29	12誘導心電図検査の結果の評価	1	5	0	0	6 / 6
30	感染症検査(インフルエンザ・ノロウイルス等)の実施の決定	3	0	0	0	3 / 6
31	感染症検査(インフルエンザ・ノロウイルス等)の実施	2	0	0	0	2 / 6
32	感染症検査(インフルエンザ・ノロウイルス等)の結果の評価	3	0	0	0	3 / 6
33	薬剤感受性検査実施の決定	0	2	0	0	2 / 6
34	真菌検査の実施の決定	2	0	0	0	2 / 6
35	真菌検査の結果の評価	2	0	0	0	2 / 6
36	微生物学検査実施の決定	1	0	0	0	1 / 6
37	微生物学検査の実施:スワブ法	0	1	0	0	1 / 6
38	薬物血中濃度検査(TDM)実施の決定	0	3	0	0	3 / 6
39	スパイロメトリーの実施の決定	0	1	0	0	1 / 6
44	血流評価検査(ABI/PWV/SPP)検査の実施の決定	4	1	0	0	5 / 6
45	血流評価検査(ABI/PWV/SPP)検査の実施	2	2	0	0	4 / 6
46	血流評価検査(ABI/PWV/SPP)検査の結果の評価	2	3	0	0	5 / 6
47	骨密度検査の実施の決定	1	1	0	0	2 / 6
48	骨密度検査の結果の評価	0	1	0	0	1 / 6
52	眼底検査の実施の決定	3	1	0	0	4 / 6
53	眼底検査の実施	0	1	1	1	3 / 6
54	眼底検査の結果の評価	0	3	0	0	3 / 6
55	ACT(活性化凝固時間)の測定実施の決定	1	3	0	0	4 / 6
56	酸素投与の開始、中止、投与量の調整の判断	1	2	0	0	3 / 6
57	気管カニューレの選択・交換	0	1	0	0	1 / 6
60	経口・経鼻挿管の実施	0	0	0	1	1 / 6
61	経口・経鼻挿管チューブの抜管	0	0	0	1	1 / 6
62	人工呼吸器モードの設定・変更の判断・実施	0	0	1	0	1 / 6
63	人工呼吸器管理下の鎮静管理	0	0	1	0	1 / 6
64	人工呼吸器装着中の患者のウイニングスケジュール作成と実施	0	0	1	0	1 / 6
67	浣腸の実施の決定	1	1	0	0	2 / 6
68	創部洗浄・消毒	2	1	0	0	3 / 6
69	褥瘡の壊死組織のデブリードマン	0	1	0	0	1 / 6
71	巻爪処置(ニッパー、ワイヤーを用いた処置)	1	0	0	0	1 / 6
72	胼胝・鶏眼処置(コーンカッター等用いた処置)	1	0	0	0	1 / 6
73	皮下膿瘍の切開・排膿:皮下組織まで	0	0	1	0	1 / 6
78	体表面創の抜糸・抜釘	1	0	1	1	3 / 6
81	中心静脈カテーテル挿入	1	0	0	0	1 / 6
82	中心静脈カテーテル抜去	0	0	1	0	1 / 6

医 行 為 番 号	医行為名(注1) (注1) 医行為番号、医行為名は、「看護師が行う医行為の範囲に関する研究(平成22年度厚生労働科学特別研究事業主任研究者前原正明防衛医科大学校教授)」における医療処置項目を記入し、医行為名がない場合は、医行為名を追記した。	到達度別の人数(人)				人数(人)
		1: 自律して 実施できる	2: 少しの指 導で実施で きる	3: かなりの 指導で実施 できる	4: 指導者 の実施を見 学	
87	胸腔穿刺	0	0	1	0	1 / 6
88	胸腔ドレーン抜去	0	1	0	0	1 / 6
89	胸腔ドレーン低圧持続吸引中の吸引圧の設定・変更	0	1	0	0	1 / 6
90	心嚢ドレーン抜去	0	1	0	0	1 / 6
91	創部ドレーン抜去	0	1	0	0	1 / 6
93	「一時的ペースメーカー」の操作・管理	1	0	1	0	2 / 6
94	「一時的ペースメーカー」の抜去	0	2	0	0	2 / 6
102	導尿・留置カテーテルの挿入及び抜去の決定	3	0	0	0	3 / 6
103	導尿・留置カテーテルの挿入の実施	3	0	0	0	3 / 6
104	飲水の開始・中止の決定	2	1	0	0	3 / 6
105	食事の開始・中止の決定	2	1	0	0	3 / 6
106	治療食(経腸栄養含む)内容の決定・変更	2	2	0	0	4 / 6
111	経管栄養用の胃管の挿入、入れ替え	1	0	0	0	1 / 6
112	胃ろうチューブ・ボタンの交換	0	1	0	0	1 / 6
114	安静度・活動や清潔の範囲の決定	3	2	1	0	6 / 6
115	隔離の開始と解除の判断	0	1	0	0	1 / 6
116	拘束の開始と解除の判断	3	1	0	0	4 / 6
124	皮膚表面の麻酔(注射)	0	0	0	1	1 / 6
125	手術執刀までの準備(体位、消毒)	0	0	0	1	1 / 6
128	手術の補足説明: “術者による患者とのリスク共有も含む説明”を補足する時間をかけた説明	1	1	0	0	2 / 6
131	血糖値に応じたインスリン投与量の判断	2	2	1	0	5 / 6
132	低血糖時のブドウ糖投与	3	1	0	0	4 / 6
133	脱水の判断と補正(点滴)	1	3	1	0	5 / 6
134	末梢血管静脈ルートの確保と輸液剤の投与	1	1	1	0	3 / 6
135	心肺停止患者への気道確保、マスク換気	0	1	0	1	2 / 6
136	心肺停止患者への電氣的除細動実施	0	1	0	1	2 / 6
137	血液透析・CHDFの操作、管理	0	0	0	1	1 / 6
139	予防接種の実施判断	3	0	0	0	3 / 6
140	予防接種の実施	2	0	0	0	2 / 6
141	特定健診などの健康診査の実施	1	0	0	0	1 / 6
143	前立腺がん検診: 触診・PSAオーダ(一次スクリーニング)	0	1	0	0	1 / 6
144	大腸がん検診: 便潜血オーダ(一次スクリーニング)	2	1	0	0	3 / 6
146	高脂血症用剤	0	4	2	0	6 / 6
147	降圧剤	0	5	1	0	6 / 6
148	糖尿病治療薬	1	4	1	0	6 / 6
149	排尿障害治療薬	0	2	0	0	2 / 6
151	K、Cl、Na	0	2	1	0	3 / 6
152	カテコラミン	0	0	1	2	3 / 6

医行為番号	医行為名(注1) (注1) 医行為番号、医行為名は、「看護師が行う医行為の範囲に関する研究(平成22年度厚生労働科学特別研究事業主任研究者前原正明防衛医科大学校教授)」における医療処置項目を記入し、医行為名がない場合は、医行為名を追記した。	到達度別の人数(人)				人数(人)
		1: 自律して実施できる	2: 少しの指導で実施できる	3: かなりの指導で実施できる	4: 指導者の実施を見学	
153	利尿剤	0	5	0	1	6 / 6
154	基本的な輸液: 高カロリー輸液	0	0	2	2	4 / 6
155	指示された期間内に薬がなくなった場合の継続薬剤(全般)の継続使用	2	3	0	0	5 / 6
156	下剤(坐薬も含む)	2	2	1	0	5 / 6
157	胃薬: 制酸剤	1	4	1	0	6 / 6
158	胃薬: 胃粘膜保護剤	1	4	1	0	6 / 6
159	整腸剤	1	4	1	0	6 / 6
160	制吐剤	0	3	1	0	4 / 6
161	止痢剤	0	2	1	0	3 / 6
162	鎮痛剤	2	2	2	0	6 / 6
163	解熱剤	1	3	1	0	5 / 6
167	外用薬	1	3	1	0	5 / 6
168	創傷被覆材(ドレッシング材)	1	1	0	0	2 / 6
169	睡眠剤	0	5	1	0	6 / 6
170	抗精神病薬	0	0	1	0	1 / 6
171	抗不安薬	0	2	2	1	5 / 6
172	ネブライザーの開始、使用薬液の選択	0	3	0	0	3 / 6
173	感染徴候時の薬物(抗生剤等)の選択(全身投与、局所投与等)	0	1	4	0	5 / 6
174	抗菌剤開始時期の決定、変更時期の決定	0	1	4	0	5 / 6
175	基本的な輸液: 糖質輸液、電解質輸液	0	1	2	1	4 / 6
176	血中濃度モニタリングに対応した抗不整脈剤の使用	0	0	1	1	2 / 6
180	副作用症状の確認による薬剤の中止、減量、変更の決定	0	2	0	0	2 / 6
183	自己血糖測定開始の決定	3	1	0	0	4 / 6
187	訪問看護の必要性の判断、依頼	2	0	0	0	2 / 6
188	日々の病状、経過の補足説明(時間をかけた説明)	4	2	0	0	6 / 6
189	リハビリテーション(嚥下、呼吸、運動機能アップ等)の必要性の判断、依頼	0	4	0	0	4 / 6
190	整形外科領域の補助具の決定、注文	0	1	0	0	1 / 6
191	理学療法士・健康運動指導士への運動指導依頼	2	1	0	0	3 / 6
192	他科への診療依頼	1	3	2	0	6 / 6
193	他科・他院への診療情報提供書作成(紹介および返信)	0	3	1	2	6 / 6
195	退院サマリー(病院全体)の作成	0	1	2	0	3 / 6
196	患者・家族・医療従事者教育	2	3	0	0	5 / 6
197	栄養士への食事指導依頼(既存の指示内容で)	5	0	0	0	5 / 6
198	他の介護サービスの実施可・不可の判断(リハビリ、血圧・体温など)	1	1	0	0	2 / 6
199	家族療法・カウンセリングの依頼	0	1	0	0	1 / 6
200	認知・行動療法の依頼	0	2	0	0	2 / 6

医 行 為 番 号	医行為名(注1) (注1) 医行為番号、医行為名は、「看護師が行う医行為の範囲に関する研究(平成22年度厚生労働科学特別研究事業主任研究者前原正明防衛医科大学校教授)」における医療処置項目を記入し、医行為名がない場合は、医行為名を追記した。	到達度別の人数(人)				人数(人)
		1: 自律して 実施できる	2: 少しの指 導で実施で きる	3: かなりの 指導で実施 できる	4: 指導者 の実施を見 学	
201	認知・行動療法の実施・評価	0	1	0	0	1 / 6
203	患者の入院と退院の判断	0	4	2	0	6 / 6
他	甲状腺疾患治療薬の継続処方	0	1	0	0	1 / 6
他	悪性貧血の継続的なVB12静注指示	0	1	0	0	1 / 6
	トレッドミル	0	1	0	0	1 / 6

特定看護師(仮称)養成 調査試行事業最終報告書
指導者評価

順天堂大学大学院
医療看護学研究科(慢性期)

医 行 為 番 号	医行為名(注1) (注1) 医行為番号、医行為名は、「看護師が行う医行為の範囲に関する研究(平成22年度厚生労働科学特別研究事業主任研究者前原正明防衛医科大学校教授)」における医療処置項目を記入し、医行為名がない場合は、医行為名を追記した。	到達度別の人数(人)				人数(人)
		1: 自律して 実施できる	2: 少しの指 導で実施で きる	3: かなりの 指導で実施 できる	4: 指導者 の実施を見 学	
1) 演習で実施した医行為と到達度						
10	単純X-Pの画像評価	0	3	0	0	3 / 3
12	CT・MRI検査画像評価	0	0	3	0	3 / 3
19	腹部超音波検査の結果の評価	0	0	3	0	3 / 3
22	心臓超音波検査の結果の評価	0	0	3	0	3 / 3
29	12誘導心電図検査の結果の評価	3	0	0	0	3 / 3
56	酸素投与の開始、中止、投与量の調節	1	1	1	0	3 / 3
131	血糖値に応じたインスリン投与量の判断	0	1	2	0	3 / 3
187	訪問看護の必要性の判断、依頼	0	3	0	0	3 / 3
196	患者・家族・医療従事者教育	0	0	3	0	3 / 3
2) 臨地実習で実施した医行為と到達度						
7	治療効果判定のための検体検査結果の評価	0	3	0	0	3 / 3
9	単純X-Pの画像の実施の決定	0	1	0	0	1 / 3
10	単純X-Pの画像評価	0	3	0	0	3 / 3
12	CT・MRI検査画像評価	0	0	3	0	3 / 3
19	腹部超音波検査の結果の評価	0	0	1	0	1 / 3
22	心臓超音波検査の結果の評価	0	0	2	0	2 / 3
28	12誘導心電図検査の結果の実施	1	0	0	0	1 / 3
29	12誘導心電図検査の結果の評価	3	0	0	0	3 / 3
32	感染症検査の結果の評価	1	0	0	0	1 / 3
35	真菌検査の結果の評価	1	0	0	0	1 / 3
56	酸素投与の開始、中止、投与量の調節	1	1	0	0	2 / 3
102	導尿・留置カテーテルの挿入・抜去の決定	1	0	0	0	1 / 3
104	飲水開始・中止の決定	1	0	0	0	1 / 3
105	食事開始・中止の決定	1	0	0	0	1 / 3
106	治療食内容の決定・変更	2	0	0	0	2 / 3
114	安静度・活動や清潔の範囲の決定	3	0	0	0	3 / 3
131	血糖値に応じたインスリン投与量の判断	0	1	0	0	1 / 3
153	利尿剤	1	0	0	0	1 / 3
162	鎮痛剤	1	0	0	0	1 / 3
167	外用薬	1	0	0	0	1 / 3
172	ネブライザーの開始・使用薬剤の選択	1	0	0	0	1 / 3
187	訪問看護の必要性の判断、依頼	0	3	0	0	3 / 3
188	日々の病状、経過の補足説明	3	0	0	0	3 / 3
189	リハビリテーションの必要性の判断・依頼	1	0	0	0	1 / 3

医 行 為 番 号	医行為名(注1) (注1) 医行為番号、医行為名は、「看護師が行う医行為の範囲に関する研究(平成22年度厚生労働科学特別研究事業主任研究者前原正明防衛医科大学校教授)」における医療処置項目を記入し、医行為名がない場合は、医行為名を追記した。	到達度別の人数(人)				人数(人)
		1:自律して 実施できる	2:少しの指 導で実施で きる	3:かなりの 指導で実施 できる	4:指導者 の実施を見 学	
195	退院時サマリーの作成	0	1	0	0	1 / 3
196	患者・家族・医療従事者教育	1	2	0	0	3 / 3
197	栄養士への食事指導依頼	2	0	0	0	2 / 3
198	他の介護サービスの実施可・不可の判断	0	1	0	0	1 / 3
203	患者の入院と退院の判断	0	0	1	0	1 / 3

特定看護師(仮称)養成 調査試行事業最終報告書
指導者評価

聖路加看護大学大学院
看護学研究科(老年)

医 行 為 番 号	医行為名(注1) (注1) 医行為番号、医行為名は、「看護師が行う医行為の範囲に関する研究(平成22年度厚生労働科学特別研究事業主任研究者前原正明防衛医科大学校教授)」における医療処置項目を記入し、医行為名がない場合は、医行為名を追記した。	到達度別の人数(人)				人数(人)
		1: 自律して 実施できる	2: 少しの指 導で実施で きる	3: かなりの 指導で実施 できる	4: 指導者 の実施を見 学	
1) 演習で実施した医行為と到達度						
16	経腹部的膀胱超音波検査	0	0	0	1	1 / 1
112	胃ろうチューブの交換	0	0	0	1	1 / 1
175	基本的な輸液	0	0	0	1	1 / 1
204	塩酸ドナベジル(アリセプト)の薬剤の選択・使用	0	0	0	1	1 / 1
2) 臨地実習で実施した医行為と到達度						
7	治療効果判定のための検体検査結果の評価	0	0	0	1	1 / 1
10	単純X線撮影の画像評価	0	0	1	0	1 / 1
12	CT、MRI検査の画像評価	0	0	1	0	1 / 1
68	創部洗浄・消毒	0	1	0	0	1 / 1
112	胃ろうチューブの交換	0	0	0	1	1 / 1
133	脱水の判断と補正	0	0	0	1	1 / 1
139	予防接種の実施判断	1	0	0	0	1 / 1
156	胃薬: 制酸薬	0	1	0	0	1 / 1
157	胃薬: 胃粘膜保護剤	0	1	0	0	1 / 1
196	患者・家族・医療従事者教育	0	1	0	0	1 / 1
204	塩酸ドナベジル(アリセプト)の薬剤の選択・使用	0	0	0	1	1 / 1

特定看護師(仮称)養成 調査試行事業最終報告書
指導者評価

聖路加看護大学大学院
看護学研究科(小児)

医 行 為 番 号	医行為名(注1) (注1) 医行為番号、医行為名は、「看護師が行う医行為の範囲に関する研究(平成22年度厚生労働科学特別研究事業主任研究者前原正明防衛医科大学校教授)」における医療処置項目を記入し、医行為名がない場合は、医行為名を追記した。	到達度別の人数(人)				人数(人)
		1:自律して 実施できる	2:少しの指 導で実施で きる	3:かなりの 指導で実施 できる	4:指導者 の実施を見 学	
1)演習で実施した医行為と到達度						
7	治療効果判定のための検体検査結果の評価	1	0	0	0	1 / 2
9	単純X線撮影の実施の決定	2	0	0	0	2 / 2
10	単純X線撮影の画像評価	0	1	0	0	1 / 2
27	12誘導心電図検査の実施の決定	0	1	0	0	1 / 2
133	脱水の評価と補正	1	0	0	0	1 / 2
156	下剤	1	0	0	0	1 / 2
159	整腸剤	1	0	0	0	1 / 2
164	去痰薬	2	0	0	0	2 / 2
167	外用薬	1	0	0	0	1 / 2
188	日々の病状・経過説明	1	0	0	0	1 / 2
192	他科への診療依頼	0	1	0	0	1 / 2
196	患者・家族・医療従事者教育	1	0	0	0	1 / 2
2)臨地実習で実施した医行為と到達度						
7	治療効果判定のための検体検査結果の評価	1	0	0	0	1 / 2
67	浣腸の実施の決定	1	0	0	0	1 / 2
107	小児のミルクの種類・量・濃度の決定	2	0	0	0	2 / 2

特定看護師(仮称)養成 調査試行事業最終報告書
指導者評価

聖路加看護大学大学院
看護学研究科(在宅)

医 行 為 番 号	医行為名(注1) (注1) 医行為番号、医行為名は、「看護師が行う医行為の範囲に関する研究(平成22年度厚生労働科学特別研究事業主任研究者前原正明防衛医科大学校教授)」における医療処置項目を記入し、医行為名がない場合は、医行為名を追記した。	到達度別の人数(人)				人数(人)
		1: 自律して 実施できる	2: 少しの指 導で実施で きる	3: かなりの 指導で実施 できる	4: 指導者 の実施を見 学	
1) 演習で実施した医行為と到達度						
56	酸素投与の開始、中止、投与量の調整の判断	1	0	0	0	1 / 2
104	飲水の開始・中止の決定	1	0	0	0	1 / 2
105	食事の開始・中止の決定	1	0	0	0	1 / 2
114	安静度・活動や清潔の範囲の決定	1	0	0	0	1 / 2
133	脱水の判断と補正(点滴)	1	0	0	0	1 / 2
147	降圧剤	1	0	0	0	1 / 2
156	下剤(坐薬も含む)	1	0	0	0	1 / 2
167	外用薬(皮膚潰瘍治療薬を含む)	1	0	0	0	1 / 2
168	創傷被覆材(ドレッシング材)	1	1	0	0	2 / 2
188	日々の病状、経過の補足説明(時間をかけた説明)	1	1	0	0	2 / 2
196	患者・家族・医療従事者教育	1	1	0	0	2 / 2
198	他の介護サービスの実施可・不可の判断(リハビリ、血圧・体温など)	1	0	0	0	1 / 2
2) 臨地実習で実施した医行為と到達度						
50	嚥下内視鏡検査の実施の決定	1	0	0	0	1 / 2
106	治療食(経腸栄養含む)内容の決定・変更	1	0	0	0	1 / 2
114	安静度・活動や清潔の範囲の決定	1	1	0	0	2 / 2

特定看護師(仮称)養成 調査試行事業最終報告書
指導者評価

新潟大学大学院
保健学研究科(慢性期)

医 行 為 番 号	医行為名(注1) (注1) 医行為番号、医行為名は、「看護師が行う医行為の範囲に関する研究(平成22年度厚生労働科学特別研究事業主任研究者前原正明防衛医科大学校教授)」における医療処置項目を記入し、医行為名がない場合は、医行為名を追記した。	到達度別の人数(人)				人数(人)
		1: 自律して 実施できる	2: 少しの指 導で実施で きる	3: かなりの 指導で実施 できる	4: 指導者 の実施を見 学	
1) 演習で実施した医行為と到達度						
53	シミュレーターを用いて検眼	0	0	1	0	1 / 1
	フィジカルアセスメント	0	1	0	0	1 / 1
	経口挿管中の患者の口腔、嚥下・摂食機能のアセスメント	0	1	0	0	1 / 1
	経口挿管中の患者の口腔ケア(洗浄)	0	1	0	0	1 / 1
	酸素投与の開始・中止、投与量調整の判断	0	1	0	0	1 / 1
	NPPV開始、中止、モード設定	0	0	1	0	1 / 1
	在宅での呼吸リハビリテーションの必要性の判断	0	1	0	0	1 / 1
2) 臨地実習で実施した医行為と到達度						
187	訪問看護の必要性の判断、依頼	0	1	0	0	1 / 1
188	日々の病状、経過の補足説明	0	1	0	0	1 / 1
189	呼吸リハビリテーションの必要性の判断	0	1	0	0	1 / 1
196	療養指導	0	1	0	0	1 / 1
	緩和ケア(疼痛コントロールの判断)	0	0	1	0	1 / 1
	ポリソノグラフィー検査説明	1	0	0	0	1 / 1
	問診	1	0	0	0	1 / 1
	レストレスレッグ問診	1	0	0	0	1 / 1
	循環器疾患既往の鑑別	0	1	0	0	1 / 1
	睡眠呼吸障害の診断、治療方針の決定	0	1	0	0	1 / 1
	CPAPの導入	0	1	0	0	1 / 1

特定看護師(仮称)養成 調査試行事業最終報告書
指導者評価

日本赤十字看護大学大学院
看護学研究科(慢性期)

医 行 為 番 号	医行為名(注1) (注1) 医行為番号、医行為名は、「看護師が行う医行為の範囲に関する研究(平成22年度厚生労働科学特別研究事業主任研究者前原正明防衛医科大学校教授)」における医療処置項目を記入し、医行為名がない場合は、医行為名を追記した。	到達度別の人数(人)				人数(人)
		1: 自律して 実施できる	2: 少しの指 導で実施で きる	3: かなりの 指導で実施 できる	4: 指導者 の実施を見 学	
1) 演習で実施した医行為と到達度						
34	真菌検査の実施の決定	2	0	0	0	2 / 2
71	巻爪処置(ニッパー、ワイヤーを用いた処置)	1	1	0	0	2 / 2
72	胼胝・鶏眼処置(コーンカッター等用いた処置)	1	1	0	0	2 / 2
131	血糖値に応じたインスリン投与量の判断	1	1	0	0	2 / 2
132	低血糖時のブドウ糖投与	2	0	0	0	2 / 2
133	脱水の判断と補正(点滴)	1	0	1	0	2 / 2
148	糖尿病治療薬	2	0	0	0	2 / 2
167	外用薬	2	0	0	0	2 / 2
183	自己血糖測定開始の決定	2	0	0	0	2 / 2
187	訪問看護の必要性の判断、依頼	2	0	0	0	2 / 2
196	患者・家族・医療従事者教育	2	0	0	0	2 / 2
197	栄養士への食事指導依頼(既存の指示内容で)	2	0	0	0	2 / 2
2) 臨地実習で実施した医行為と到達度						
34	真菌検査の実施の決定	2	0	0	0	2 / 2
71	巻爪処置(ニッパー、ワイヤーを用いた処置)	1	0	1	0	2 / 2
72	胼胝・鶏眼処置(コーンカッター等用いた処置)	1	1	0	0	2 / 2
131	血糖値に応じたインスリン投与量の判断	1	1	0	0	2 / 2
132	低血糖時のブドウ糖投与	2	0	0	0	2 / 2
148	糖尿病治療薬	2	0	0	0	2 / 2
167	外用薬	2	0	0	0	2 / 2
183	自己血糖測定開始の決定	2	0	0	0	2 / 2
187	訪問看護の必要性の判断、依頼	2	0	0	0	2 / 2
196	患者・家族・医療従事者教育	2	0	0	0	2 / 2
197	栄養士への食事指導依頼(既存の指示内容で)	2	0	0	0	2 / 2

**特定看護師(仮称)養成 調査試行事業最終報告書
指導者評価**

兵庫県立大学大学院
看護学研究科(がん)

医 行 為 番 号	医行為名(注1) (注1) 医行為番号、医行為名は、「看護師が行う医行為の範囲に関する研究(平成22年度厚生労働科学特別研究事業主任研究者前原正明防衛医科大学校教授)」における医療処置項目を記入し、医行為名がない場合は、医行為名を追記した。	到達度別の人数(人)				人数(人)
		1: 自律して 実施できる	2: 少しの指 導で実施で きる	3: かなりの 指導で実施 できる	4: 指導者 の実施を見 学	
1) 演習で実施した医行為と到達度						
10	単純X線撮影の画像評価	0	0	0	7	7 / 7
12	CT、MRI検査の画像評価	0	0	0	7	7 / 7
19	腹部超音波検査の結果の評価	0	0	0	7	7 / 7
29	12誘導心電図検査の結果の評価	0	0	7	0	7 / 7
39	スパイロメトリーの実施の決定	0	0	7	0	7 / 7
53	眼底検査の実施	0	7	0	0	7 / 7
56	酸素投与の開始、中止、投与量の調整の判断	0	0	7	0	7 / 7
	各種神経反射の実施と判定	0	7	0	0	7 / 7
2) 臨地実習で実施した医行為と到達度						
6	治療効果判定のための検体検査の実施の決定	0	0	0	3	3 / 7
7	治療効果判定のための検体検査結果の評価	0	0	0	4	4 / 7
10	単純X線撮影の画像評価	0	0	0	3	3 / 7
12	CT、MRI検査の画像評価	0	0	0	6	6 / 7
13	造影剤使用検査時の造影剤の投与	0	0	0	5	5 / 7
28	12誘導心電図検査の実施	3	0	0	0	3 / 7
29	12誘導心電図検査の結果の評価	0	1	0	0	1 / 7
33	薬剤感受性検査実施の決定	0	0	0	2	2 / 7
67	浣腸の実施の決定	0	0	0	0	0 / 7
68	創部洗浄・消毒	1	0	0	0	1 / 7
80	末梢静脈挿入式静脈カテーテル(PICC)※挿入口	0	0	0	2	2 / 7
106	治療食(経腸栄養含む)内容の決定・変更	1	0	0	0	1 / 7
114	安静度・活動や清潔の範囲の決定	2	0	0	0	2 / 7
156	下剤(坐薬も含む)	0	0	0	0	0 / 7
160	制吐剤	1	0	0	5	6 / 7
162	鎮痛剤	0	0	0	6	6 / 7
169	睡眠剤	0	0	0	6	6 / 7
171	抗不安薬	0	0	0	6	6 / 7
175	基本的な輸液: 糖質輸液、電解質輸液	0	0	0	2	2 / 7
177	化学療法副作用出現時の症状緩和の薬剤選択、処置	1	0	0	5	6 / 7
178	抗癌剤等の皮下漏出時のステロイド薬の選択、局所注射の実施	0	0	0	6	6 / 7
179	放射線治療による副作用出現時の外用薬の選択	0	0	0	6	6 / 7
180	副作用症状の確認による薬剤の中止、減量、変更の決定	0	0	0	6	6 / 7
182	硬膜外チューブからの鎮痛剤の投与(投与量の調整)	0	0	0	6	6 / 7

医 行 為 番 号	医行為名(注1) (注1) 医行為番号、医行為名は、「看護師が行う医行為の範囲に関する研究(平成22年度厚生労働科学特別研究事業主任研究者前原正明防衛医科大学校教授)」における医療処置項目を記入し、医行為名がない場合は、医行為名を追記した。	到達度別の人数(人)				人数(人)
		1: 自律して実施できる	2: 少しの指導で実施できる	3: かなりの指導で実施できる	4: 指導者の実施を見学	
184	痛みの強さや副作用症状に応じたオピオイドの投与量・用法調整、想定されたオピオイドローテーションの実施時期決定:WHO方式がん疼痛治療法等	1	0	0	5	6 / 7
185	痛みの強さや副作用症状に応じた非オピオイド・鎮痛補助薬の選択と投与量・用法調整:WHO方式がん疼痛治療法等	1	0	0	5	6 / 7
186	がんの転移、浸潤に伴う苦痛症状のための薬剤の選択と評価	0	0	0	3	3 / 7
187	訪問看護の必要性の判断、依頼	0	0	0	6	6 / 7
188	日々の病状、経過の補足説明(時間をかけた説明)	4	0	0	1	5 / 7
192	他科への診療依頼	1	0	0	0	1 / 7
196	患者・家族・医療従事者教育	2	0	0	3	5 / 7
197	栄養士への食事指導依頼(既存の指示内容で)	1	0	0	0	1 / 7
203	患者の入院と退院の判断	0	0	0	3	3 / 7
	アロママッサージ	0	0	1	0	1 / 7
	胃がん患者が在宅で経口摂取がほとんどできず、脱水、低栄養であることを判断し、医師と話し合い患者、家族にも入院して加療の必要があることを説明した。	1	0	0	0	1 / 7
	栄養状態をアセスメントし、栄養指導をとりいれた	1	0	0	0	1 / 7
	化学療法中の適切な栄養についてアセスメントし、患者、家族に指導を行なった	1	0	0	0	1 / 7
	化学療法による便秘が続き、下剤による調整が必要と判断し医師に処方依頼した	1	0	0	0	1 / 7
	がん治療後の体力低下の状態および、治療に伴う副作用の重症度をアセスメントした上で、個々の患者に適した運動プログラムを作成し、実施した	0	1	0	0	1 / 7
	終末期がん患者がイレウス状態で苦痛があるにもかかわらず、適切に緩和治療が行なわれていなかった。医師、看護師に働きかけ、薬剤の内容を見直し、患者の状態と症状の機序についてカンファレンスをもった。サンドスタチンの説明、使い方についても医師に説明した上で処方と投与の指示を依頼した。	1	0	0	0	1 / 7
	出血に伴う安静の決定と解除	1	0	0	0	1 / 7
	神経学的診察	0	1	0	0	1 / 7
	全身性浮腫の症状をアセスメントし、利尿剤および輸液量を減量する必要があることを医師に伝え、指示を受けた	1	0	0	0	1 / 7
	皮膚状態に合わせた軟膏使用	1	0	0	0	1 / 7
	皮膚状態の判断	1	0	0	0	1 / 7
	不快症状が続き、ストレスが高く、リラクゼーション目的でハンド・フットマッサージを行なった	1	0	0	0	1 / 7
	リンパ浮腫ケア(複合的リンパマッサージ)	0	0	1	0	1 / 7
	リンパ浮腫の判定	0	0	0	2	2 / 7
	各種神経反射の実施	0	1	0	0	1 / 7
	乳がん内分泌療法中の患者における運動処方	1	0	0	0	1 / 7

医行為番号	医行為名(注1)	到達度別の人数(人)				人数(人)
		1:自律して実施できる	2:少しの指導で実施できる	3:かなりの指導で実施できる	4:指導者の実施を見学	
	(注1) 医行為番号、医行為名は、「看護師が行う医行為の範囲に関する研究(平成22年度厚生労働科学特別研究事業主任研究者前原正明防衛医科大学校教授)」における医療処置項目を記入し、医行為名がない場合は、医行為名を追記した。					
	放射線治療による副作用(嘔気・嘔吐)を改善するために、ASCOガイドラインを使用して薬剤変更を提案。医師の指示により薬剤を変更して投与したが、症状の改善はみられなかった。	1	0	0	0	1 / 7

特定看護師(仮称)養成 調査試行事業最終報告書
指導者評価

兵庫県立大学大学院
看護学研究科(精神)

医 行 為 番 号	医行為名(注1) (注1) 医行為番号、医行為名は、「看護師が行う医行為の範囲に関する研究(平成22年度厚生労働科学特別研究事業主任研究者前原正明防衛医科大学校教授)」における医療処置項目を記入し、医行為名がない場合は、医行為名を追記した。	到達度別の人数(人)				人数(人)
		1: 自律して 実施できる	2: 少しの指 導で実施で きる	3: かなりの 指導で実施 できる	4: 指導者 の実施を見 学	
1) 演習で実施した医行為と到達度						
28	12誘導心電図検査の実施	0	1	0	0	1 / 5
196	患者・家族・医療従事者教育	0	2	1	0	3 / 5
196	患者・家族・医療従事者教育(SST)	0	0	1	0	1 / 5
196	患者・家族・医療従事者教育(リラクセーション)	0	0	1	0	1 / 5
196	患者・家族・医療従事者教育(ストレスマネジメント・リラクセーション)	0	0	1	0	1 / 5
200	認知・行動療法の依頼	0	0	1	0	1 / 5
201	認知・行動療法の実施・評価	0	0	1	0	1 / 5
2) 臨地実習で実施した医行為と到達度						
67	浣腸の実施の決定	1	0	0	0	1 / 5
115	隔離の開始と解除の判断	0	0	0	1	1 / 5
187	訪問看護の必要性の判断・依頼	0	0	0	1	1 / 5
188	日々の病状・経過の補足説明	0	0	1	1	2 / 5
196	患者・家族・医療従事者教育	0	0	2	0	2 / 5
201	認知・行動療法の実施・評価	0	0	1	0	1 / 5
	抗不安薬の調整依頼	0	1	0	0	1 / 5

特定看護師(仮称)養成 調査試行事業最終報告書
指導者評価

兵庫県立大学大学院
看護学研究科(在宅)

医 行 為 番 号	医行為名(注1) (注1) 医行為番号、医行為名は、「看護師が行う医行為の範囲に関する研究(平成22年度厚生労働科学特別研究事業主任研究者前原正明防衛医科大学校教授)」における医療処置項目を記入し、医行為名がない場合は、医行為名を追記した。	到達度別の人数(人)				人数(人)
		1: 自律して 実施できる	2: 少しの指 導で実施で きる	3: かなりの 指導で実施 できる	4: 指導者 の実施を見 学	
1) 演習で実施した医行為と到達度						
10	単純X線撮影の画像評価	0	0	0	1	1 / 1
12	CT、MRI検査の画像評価	0	0	0	1	1 / 1
19	腹部超音波検査の結果の評価	0	0	0	1	1 / 1
29	12誘導心電図検査の結果の評価	0	0	1	0	1 / 1
39	スパイロメトリーの実施の決定	0	0	1	0	1 / 1
53	眼底検査の実施	0	1	0	0	1 / 1
56	酸素投与の開始、中止、投与量の調整の判断	0	0	1	0	1 / 1
68	創部の洗浄・消毒	0	0	1	0	1 / 1
	各種神経反射の実施と判定	0	1	0	0	1 / 1
2) 臨地実習で実施した医行為と到達度						
67	浣腸の実施の決定	1	0	0	0	1 / 1
68	創部洗浄・消毒	0	1	0	0	1 / 1
104	飲水の開始・中止の決定	0	1	0	0	1 / 1
105	食事の開始・中止の決定	0	1	0	0	1 / 1
106	治療食(経腸栄養含む)の内容の決定・変更	0	1	0	0	1 / 1
114	安静度・活動や清潔の範囲の決定	1	0	0	0	1 / 1
156	下剤(座薬含む)	1	0	0	0	1 / 1
188	日々の病状、経過の補足説明(時間をかけた説明)	1	0	0	0	1 / 1
193	他科・他院への診療情報提供者作成(紹介および返信)	1	0	0	0	1 / 1
追加	摘便の実施の決定・実施	1	0	0	0	1 / 1

**特定看護師(仮称)養成 調査試行事業最終報告書
指導者評価**

日本看護協会 看護研修学校
(救急)

医 行 為 番 号	医行為名(注1) (注1) 医行為番号、医行為名は、「看護師が行う医行為の範囲に関する研究(平成22年度厚生労働科学特別研究事業主任研究者前原正明防衛医科大学校教授)」における医療処置項目を記入し、医行為名がない場合は、医行為名を追記した。	到達度別の人数(人)				人数(人)
		1: 自律して 実施できる	2: 少しの指 導で実施で きる	3: かなりの 指導で実施 できる	4: 指導者 の実施を見 学	
1) 演習で実施した医行為と到達度						
1	動脈ラインからの採血	6	0	0	0	6 / 6
2	直接動脈穿刺による採血	0	6	0	0	6 / 6
3	動脈ラインの抜去・圧迫止血	6	0	0	0	6 / 6
4	トリアージのための検体検査の実施の決定	0	6	0	0	6 / 6
5	トリアージのための検体検査結果の評価	0	6	0	0	6 / 6
6	治療効果判定のための検体検査の実施の決定	0	1	0	0	1 / 6
7	治療効果判定のための検体検査結果の評価	0	1	0	0	1 / 6
9	単純X線撮影の実施の決定	0	5	0	0	5 / 6
10	単純X線撮影の画像評価	0	5	0	0	5 / 6
27	12誘導心電図検査の実施の決定	6	0	0	0	6 / 6
28	12誘導心電図検査の実施	6	0	0	0	6 / 6
29	12誘導心電図検査の結果の評価	6	0	0	0	6 / 6
30	感染症検査(インフルエンザ・ノロウイルス等)の実施の決定	0	6	0	0	6 / 6
31	感染症検査(インフルエンザ・ノロウイルス等)の実施	0	6	0	0	6 / 6
32	感染症検査(インフルエンザ・ノロウイルス等)の結果の評価	0	6	0	0	6 / 6
56	酸素投与の開始、中止、投与量の調整の判断	6	0	0	0	6 / 6
60	経口・経鼻挿管の実施	0	6	0	0	6 / 6
79	動脈ライン確保	0	6	0	0	6 / 6
132	低血糖時のブドウ糖投与	6	0	0	0	6 / 6
172	ネブライザーの開始、使用薬液の選択	6	0	0	0	6 / 6
	エスマルヒ、タニケットによる止血処置の実施の決定と評価	6	0	0	0	6 / 6
	ST 上昇を認め心筋梗塞が強く疑われる患者に対する薬剤投与(アスピリン、クロピドグレル)の実施の決定と評価	6	0	0	0	6 / 6
	心停止(心静止・無脈性電気活動)の患者に対する薬剤投与(エピネフリン)の実施の決定と評価	6	0	0	0	6 / 6
	気管挿管の実施の決定と評価	6	0	0	0	6 / 6
	心停止(心室細動、無脈性心室頻拍)の患者に対する除細動の実施の決定と評価	6	0	0	0	6 / 6
	心停止(心室細動、無脈性心室頻拍)の患者に対する除細動の実施	6	0	0	0	6 / 6
	血液検査(全血球数算定・血液凝固・生化学・血液型)の実施の決定	0	6	0	0	6 / 6
	血液検査(全血球数算定・血液凝固・生化学・血液型)の実施の評価	0	6	0	0	6 / 6

医行為番号	医行為名(注1) (注1) 医行為番号、医行為名は、「看護師が行う医行為の範囲に関する研究(平成22年度厚生労働科学特別研究事業主任研究者前原正明防衛医科大学校教授)」における医療処置項目を記入し、医行為名がない場合は、医行為名を追記した。	到達度別の人数(人)				人数(人)
		1: 自律して実施できる	2: 少しの指導で実施できる	3: かなりの指導で実施できる	4: 指導者の実施を見学	
	超音波検査(外傷初期診療における迅速簡易超音波検査法)の実施の決定	0	6	0	0	6 / 6
	超音波検査(外傷初期診療における迅速簡易超音波検査法)の評価	0	6	0	0	6 / 6
	けいれん発作が持続している患者に対する薬剤投与(ジアゼパム注射液)の実施の決定と評価	0	6	0	0	6 / 6
	けいれん患者に対するジアゼパム注射液の実施	0	6	0	0	6 / 6
	アナフィラキシー患者に対する薬剤投与(エピネフリン)の実施の決定と評価	0	6	0	0	6 / 6
2) 臨地実習で実施した医行為と到達度						
1	動脈ラインからの採血	3	0	0	0	3 / 6
2	直接動脈穿刺による採血	0	6	0	0	6 / 6
3	動脈ラインの抜去・圧迫止血	2	0	0	0	2 / 6
4	トリアージのための検体検査の実施の決定	0	4	0	0	4 / 6
5	トリアージのための検体検査結果の評価	0	4	0	0	4 / 6
9	単純X線撮影の実施の決定	0	6	0	0	6 / 6
10	単純X線撮影の画像評価	0	6	0	0	6 / 6
11	CT、MRI検査の実施の決定	0	0	3	0	3 / 6
12	CT、MRI検査の画像評価	0	0	3	0	3 / 6
27	12誘導心電図検査の実施の決定	5	0	0	0	5 / 6
28	12誘導心電図検査の実施	5	0	0	0	5 / 6
29	12誘導心電図検査の結果の評価	5	0	0	0	5 / 6
30	感染症検査(インフルエンザ・ノロウイルス等)の実施の決定	0	4	0	0	4 / 6
31	感染症検査(インフルエンザ・ノロウイルス等)の実施	0	4	0	0	4 / 6
32	感染症検査(インフルエンザ・ノロウイルス等)の結果の評価	0	4	0	0	4 / 6
56	酸素投与の開始、中止、投与量の調整の判断	6	0	0	0	6 / 6
60	経口・経鼻挿管の実施	0	0	3	0	3 / 6
64	人工呼吸器装着中の患者のウイニングスケジュール作成と実施	0	1	0	0	1 / 6
104	飲水の開始・中止の決定	0	1	0	0	1 / 6
116	拘束の開始と解除の判断	1	0	0	0	1 / 6
132	低血糖時のブドウ糖投与	5	0	0	0	5 / 6
172	ネブライザーの開始、使用薬液の選択	2	0	0	0	2 / 6
	ST 上昇を認め心筋梗塞が強く疑われる患者に対する薬剤投与(アスピリン、クロピドグレル)の実施の決定と評価	2	0	0	0	2 / 6
	心停止(心静止・無脈性電気活動)の患者に対する薬剤投与(エピネフリン)の実施の決定と評価	6	0	0	0	6 / 6
	気管挿管の実施の決定と評価	5	0	0	0	5 / 6

医 行 為 番 号	医行為名(注1) (注1) 医行為番号、医行為名は、「看護師が行う医行為の範囲に関する研究(平成22年度厚生労働科学特別研究事業主任研究者前原正明防衛医科大学校教授)」における医療処置項目を記入し、医行為名がない場合は、医行為名を追記した。	到達度別の人数(人)				人数(人)
		1:自律して 実施できる	2:少しの指 導で実施で きる	3:かなりの 指導で実施 できる	4:指導者 の実施を見 学	
	心停止(心室細動、無脈性心室頻拍)の患者に対する 除細動の実施の決定と評価	3	0	0	0	3 / 6
	心停止(心室細動、無脈性心室頻拍)の患者に対する 除細動の実施	3	0	0	0	3 / 6
	血液検査(全血球数算定・血液凝固・生化学・血液型) の実施の決定	0	6	0	0	6 / 6
	血液検査(全血球数算定・血液凝固・生化学・血液型) の実施の評価	0	6	0	0	6 / 6
	超音波検査(外傷初期診療における迅速簡易超音波 検査法)の実施の決定	0	5	0	0	5 / 6
	超音波検査(外傷初期診療における迅速簡易超音波 検査法)の評価	0	5	0	0	5 / 6

特定看護師(仮称)養成 調査試行事業最終報告書
指導者評価

日本看護協会 看護研修学校
(皮膚・排泄ケア)

医 行 為 番 号	医行為名(注1) (注1) 医行為番号、医行為名は、「看護師が行う医行為の範囲に関する研究(平成22年度厚生労働科学特別研究事業主任研究者前原正明防衛医科大学校教授)」における医療処置項目を記入し、医行為名がない場合は、医行為名を追記した。	到達度別の人数(人)				人数(人)
		1: 自律して 実施できる	2: 少しの指 導で実施で きる	3: かなりの 指導で実施 できる	4: 指導者 の実施を見 学	
1) 演習で実施した医行為と到達度						
24	表在超音波検査	2	4	0	0	6 / 6
25	下肢血管超音波検査の実施の決定	3	1	0	0	4 / 6
26	ドップラー検査	2	3	0	0	5 / 6
45	血流評価検査の実施	3	2	0	0	5 / 6
69	デブリードマン	2	4	0	0	6 / 6
70	電気凝固メスによる止血	0	3	0	0	3 / 6
72	胼胝・鶏眼処置	2	0	0	0	2 / 6
73	皮下膿瘍の切開・排膿: 皮下組織まで	2	2	0	0	4 / 6
74	陰圧療法	6	0	0	0	6 / 6
75	表層の縫合	1	4	0	0	5 / 6
76	非感染創の縫合: 皮下組織から筋層まで(手術室外で)	1	3	0	0	4 / 6
78	体表面創の抜糸・抜鉤	1	0	0	0	1 / 6
124	皮膚表面の麻酔	1	4	0	0	5 / 6
	サーモグラフィー	6	0	0	0	6 / 6
	高圧酸素療法	2	0	0	0	2 / 6
2) 臨地実習で実施した医行為と到達度						
6	治療効果判定のための検体検査の実施の決定	1	3	0	0	4 / 6
7	治療効果判定のための検体検査結果の評価	2	2	1	0	5 / 6
8	手術前検査の実施の決定	1	3	0	0	4 / 6
9	単純X線撮影の実施の決定	1	3	0	0	4 / 6
10	単純X線の画像評価	0	5	0	0	5 / 6
11	CT、MRI検査の実施の決定	1	2	0	0	3 / 6
12	CT・MRIの画像評価	0	6	0	0	6 / 6
24	表在超音波検査	2	3	0	0	5 / 6
25	下肢血管超音波検査	1	1	0	0	2 / 6
26	術後下肢動脈ドップラー検査の実施の決定	1	2	0	0	3 / 6
36	微生物検査実施の決定	1	0	0	0	1 / 6
37	微生物検査の実施: スワブ	1	0	0	0	1 / 6
44	血流評価検査(ABI/PWV/SPP)検査の実施の決定	3	1	0	0	4 / 6
45	血流評価検査の実施	4	2	0	0	6 / 6
46	血流評価検査の評価	4	1	0	0	5 / 6
68	創部洗浄・消毒	5	0	0	0	5 / 6
69	褥瘡のデブリードマン	2	4	0	0	6 / 6

医 行 為 番 号	医行為名(注1) (注1) 医行為番号、医行為名は、「看護師が行う医行為の範囲に関する研究(平成22年度厚生労働科学特別研究事業主任研究者前原正明防衛医科大学校教授)」における医療処置項目を記入し、医行為名がない場合は、医行為名を追記した。	到達度別の人数(人)				人数(人)
		1: 自律して実施できる	2: 少しの指導で実施できる	3: かなりの指導で実施できる	4: 指導者の実施を見学	
70	電気凝固メスによる止血	1	5	0	0	6 / 6
71	巻爪処置(ニッパー、ワイヤーを用いた処置)	1	1	0	0	2 / 6
72	胼胝・鶏眼処置(コーンカッター等用いた処置)	2	2	0	0	4 / 6
73	皮下膿瘍の切開・排膿	1	1	0	0	2 / 6
74	陰圧閉鎖療法の実施	6	0	0	0	6 / 6
75	表層の縫合	3	2	0	0	5 / 6
76	皮下組織の縫合	1	1	0	0	2 / 6
78	体表面創の抜糸・抜鉤	6	0	0	0	6 / 6
124	皮膚表面の麻酔	1	5	0	0	6 / 6
125	手術執刀までの準備(体位、消毒)	1	4	0	0	5 / 6
126	手術機器の把持	0	1	0	0	1 / 6
167	外用薬	6	0	0	0	6 / 6
168	創傷被覆材	6	0	0	0	6 / 6
196	患者・家族・医療従事者教育	2	0	0	0	2 / 6
	局所酸素療法	0	2	0	0	2 / 6
	慢性下肢創傷の壊死組織のデブリードマン	1	5	0	0	6 / 6
	離開創の壊死組織のデブリードマン	0	1	0	0	1 / 6
	瘢痕組織の切除	0	1	0	0	1 / 6
	マゴットセラピー	0	1	0	0	1 / 6
	腐骨除去	0	1	0	0	1 / 6
	電気メスによる活性のない組織および壊死組織のデブリードマン	0	1	0	0	1 / 6
	ターニケットによる止血	0	1	0	0	1 / 6
	縫合糸血管結紮による止血	0	1	0	0	1 / 6
	静脈性下腿潰瘍に対する 圧迫療法	1	0	0	0	1 / 6
	瘻孔造影	0	1	0	0	1 / 6
	ギプスカット	0	1	0	0	1 / 6
	虚血肢疑い時の肺塞栓予防ストッキング中止の判断	1	0	0	0	1 / 6
	術後創のステリーストリップ交換	1	0	0	0	1 / 6

特定看護師(仮称)養成 調査試行事業最終報告書
指導者評価

日本看護協会 看護研修学校
(感染管理)

医 行 為 番 号	医行為名(注1) (注1) 医行為番号、医行為名は、「看護師が行う医行為の範囲に関する研究(平成22年度厚生労働科学特別研究事業主任研究者前原正明防衛医科大学校教授)」における医療処置項目を記入し、医行為名がない場合は、医行為名を追記した。	到達度別の人数(人)				人数(人)
		1: 自律して 実施できる	2: 少しの指 導で実施で きる	3: かなりの 指導で実施 できる	4: 指導者 の実施を見 学	
1) 演習で実施した医行為と到達度						
6	治療効果判定のための検体検査の実施の決定	0	6	0	0	6 / 6
7	治療効果判定のための検体検査結果の評価	0	6	0	0	6 / 6
9	単純X線撮影の実施の決定	1	5	0	0	6 / 6
10	単純X線撮影の画像評価	0	6	0	0	6 / 6
30	感染症検査(インフルエンザ・ノロウィルス等)の実施の決定	0	6	0	0	6 / 6
32	感染症検査(インフルエンザ・ノロウィルス等)の結果の評価	0	6	0	0	6 / 6
33	薬剤感受性検査実施の決定	0	6	0	0	6 / 6
34	真菌検査の実施の決定	0	6	0	0	6 / 6
35	真菌検査の結果の評価	0	6	0	0	6 / 6
36	微生物学検査実施の決定	0	6	0	0	6 / 6
38	薬物血中濃度検査(TDM)実施の決定	1	5	0	0	6 / 6
139	予防接種の実施判断	6	0	0	0	6 / 6
166	インフルエンザ薬	0	6	0	0	6 / 6
173	感染徴候時の薬物(抗生剤等)の選択(全身投与、局所投与等)	0	6	0	0	6 / 6
174	抗菌剤開始時期の決定、変更時期の決定	0	6	0	0	6 / 6
180	副作用症状の確認による薬剤の中止、減量、変更の決定	0	6	0	0	6 / 6
196	患者・家族・医療従事者教育	0	6	0	0	6 / 6
	血管内カテーテルの抜去交換の実施の決定	0	6	0	0	6 / 6
	尿道留置カテーテルの抜去・交換の実施の決定	0	6	0	0	6 / 6
	医療関連感染者の患者に対する抗菌剤使用の適正評価	1	5	0	0	6 / 6
	針刺し等受傷医療者のHBIG投与の決定	6	0	0	0	6 / 6
	針刺し等受傷医療者のワクチン接種の決定	6	0	0	0	6 / 6
	針刺し等受傷医療者の予防内服の実施の決定	6	0	0	0	6 / 6
2) 臨地実習で実施した医行為と到達度						
6	治療効果判定のための検体検査の実施の決定		4	0	0	4 / 6
7	治療効果判定のための検体検査結果の評価		5	0	0	5 / 6
9	単純X線撮影の実施の決定		3	0	0	3 / 6
10	単純X線撮影の画像評価		6	0	0	6 / 6
30	感染症検査(インフルエンザ・ノロウィルス等)の実施の決定		3	0	0	3 / 6
32	感染症検査(インフルエンザ・ノロウィルス等)の結果の評価		3	0	0	3 / 6

医 行 為 番 号	医行為名(注1) (注1) 医行為番号、医行為名は、「看護師が行う医行為の範囲に関する研究(平成22年度厚生労働科学特別研究事業主任研究者前原正明防衛医科大学校教授)」における医療処置項目を記入し、医行為名がない場合は、医行為名を追記した。	到達度別の人数(人)				人数(人)
		1:自律して 実施できる	2:少しの指 導で実施で きる	3:かなりの 指導で実施 できる	4:指導者 の実施を見 学	
33	薬剤感受性検査実施の決定		3	0	0	3 / 6
34	真菌検査の実施の決定		5	0	0	5 / 6
35	真菌検査の結果の評価		5	0	0	5 / 6
36	微生物学検査実施の決定		3	0	0	3 / 6
38	薬物血中濃度検査(TDM)実施の決定		3	0	0	3 / 6
139	予防接種の実施判断		0	0	0	0 / 6
166	インフルエンザ薬		1	0	0	1 / 6
173	感染徴候時の薬物(抗生剤等)の選択(全身投与、局所投与等)		6	0	0	6 / 6
174	抗菌剤開始時期の決定、変更時期の決定		4	0	0	4 / 6
180	副作用症状の確認による薬剤の中止、減量、変更の決定		5	0	0	5 / 6
196	患者・家族・医療従事者教育		0	0	0	0 / 6
	血管内カテーテルの抜去交換の実施の決定		3	0	0	3 / 6
	尿道留置カテーテルの抜去・交換の実施の決定		3	0	0	3 / 6
	医療関連感染者の患者に対する抗菌剤使用の適正評価		6	0	0	6 / 6